

勝山市エコミュージアムニュース

平成21年度の取り組み

勝山市
エコミュージアム
協議会

勝山市のエコミュージアム

勝山市がエコミュージアムによって目指すのが、「ふるさとルネッサンス」です。

勝山市独自の自然や風土、伝統や歴史、特有の文化とコミュニティによって成り立っている地域の力を再発見することによって、勝山市の魅力ある個性と特性とを自信を持って表現することが、地域の誇りにもつながります。

私たちが地域に誇りを持つことによって、地域の伝統・文化の継承・保存や地域環境の保全、さらには地域住民の自主性が喚起されます。

勝山市のエコミュージアムは、こうした市民の自主的な活動への支援を通じ、この町を人間性への回帰に対応した「選択されるふるさと」とすることで、いつまでも住み続けたいまちの実現を目指します。

勝山地区エコ推進協議会

「勝山おもしろ読本」とまちなか歴史ウォーク

勝山地区エコ推進協議会は勝山市の「エコミュージアム構想」のもとに、平成14年12月に勝山地区のまちづくり団体として発足し、勝山地区の歴史的遺産を発掘して、住民や観光客が遺跡の場所を確認、再発見できるような事業を展開してきました。

再発掘された遺産や資料からガイドブック「勝山おもしろ読本」を作成し、これをもとに本年度も「まちなか歴史ウォーク」が2回にわたって開催されました。



猪野瀬まちづくり推進協議会

気軽に山登りが楽しめる大師山をめざして

当地区のシンボルのひとつである大師山の整備に取り組んでいます。

昨年度は、山頂から林道に沿って桜を植樹し、今年度は、気軽に山登りが楽しめるように、山頂までの登山道に230段の再生プラスチック製の階段を設置しました。



みんなで登ろう「大師山たいまつ登山」

大師山では、毎年8月13日には、夏の一大イベント「大師山たいまつ登山」が行われ、市内外から多くの人に親しまれています。たいまつ棒を手に標高550mの山頂に登り、登山道や山頂からは勝山市内の夜景を楽しむことができます。

平泉寺町まちづくり推進協議会

女神(おながみ)まつり

平泉寺の水と豊かな自然を肌で体感し、地域の各世代間の交流を図るため、女神川にて「白山平泉寺女神まつり」を行いました。会場では児童・来場者による七夕の飾り付けや岩魚のつかみ取り、約10mの流しそうめんなどが行われ、大いに賑わっていました。

また取った岩魚はその場で塩焼きにし、皆さんに振る舞われました。

高齢層から若年層まで幅広い参加者により世代間の交流が図られ、町の活性化に貢献できました。



まちづくり・むろこの会

花いっぱい推進事業

これまで自分の庭先、玄関からを合言葉に、「花の教室」の開催や村岡小学校のグラウンド土手の芝桜・恐竜博物館手前のコスモス畑の育成など、村岡中が花でいっぱいになるよう、これからも活動を続けていきたいです。



公民館の桜木を守る事業

桜木の満開と、クリスマス時期に行った公民館前の桜木などのイルミネーションは、町内外から多くの方々が見物に來られ大好評でした。

また、その桜木の由来を書いた看板を設置しました。



村岡山里山公園化プロジェクト

当会メンバーを中心に、山頂の見晴らしを良くするための雑木伐採や休憩のためのベンチを設置しました。そして、それら活動の成果と村岡山の歴史的価値のPRのため「村岡山史跡健康ウォーキング」を開催し、46名の参加がありました。



野向町まちづくり委員会

高尾の息吹③（仮称）の発刊に向けて

昭和55年に発刊された「高尾の息吹」創刊号、第2集の復刻を完了し、その後30年で変化のあった事、不足している内容について、地域のお年寄りからの情報収集を行いました。月1回程度の勉強会を開き、来年度の続編発刊にむけて活動中です。



まちづくりから事業化…「株のおきのエゴマ」

わがまち元気発掘事業で地域の特産だったエゴマに着目し、町をあげて栽培に取り組み、事業化に成功しました。昨年は念願の搾油機を購入し、栽培から製品化までのプロセス全てを野向町内で行っています。今年の年の市も大盛況でした。



第5回のおきコスモスまつり

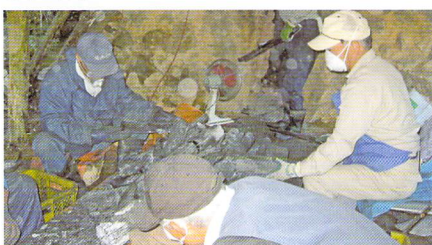
薬師神谷地区の休耕田に広がるコスモス畑と薬師神社を会場に開かれるコスモスまつりも今年で5年目を迎えました。台風で花が散ってしまうアクシデントもありましたが、当日は快晴に恵まれ、山あいの神社は賑やかな声で溢れていました。

荒土町ふるさとづくり推進協議会

火持ち抜群 大好評の『荒土の炭』

今年度は4回炭焼きをしました。多くの方から火持ちが良く火力が強いと好評を得て固定客もつき、暖房用として必要となる頃にはほとんどなくなってしまいました。

炭づくりは、すべてが手作業でかつ重労働ですが、会員は昔の体験を活かしてがんばっています。



炭を使った創作品の製作と販売

炭を焼くたびに出来る炭の足や規格外品を商品化しようと会員がアイデアを出し合って、花器やミニ盆栽などおしゃれなインテリア商品を試作しました。ゆめおーれ勝山に関連するイベントや年の市の販売などで付加価値をつけ、『荒土の炭』をPRしていきます。



『ウド』の特産品化に向け栽培中

炭窯近くの休耕田を活用し、県総合グリーンセンターや奥越農林総合事務所の指導を受けて2年にわたり、ウドの苗の植え付け、加工法についての研修を受けました。来年は初収穫が見込まれ、特産化に向け取り組んでいきたいと意気込んでいます。



北郷町まちづくり委員会

ほたるの里事業

北郷公民館前の川は、ほたるの群生地です。
北郷町まちづくり委員会では、この土地に『公園 ほたるの里』を作り、今年度はほたるの鑑賞会・高齢者サロン活動などを開催しました。これからも色々な活動を計画しています。みなさんもぜひ見に来てください。



鮎の巻き寿司事業

今年度も、北郷町の名産品『鮎の巻き寿司』をうまいもん祭りや勝山年の市にて販売しました。

また、新商品『鮎の昆布巻き』や『鮎のへしこ』も試食していただきました。

今後は独立しての活動を目指します。みなさん、どうか応援をよろしくお願いいたします。

鹿谷町まちづくり協議会

これまでの取り組み

「福井県大野郡誌」によると、城山の城は朝倉一族である朝倉経景あるいは景鏡を築城者として推定しています。過去3年間で、この城跡までの登山道を整備し、歴史や構造について記載された看板や植物のネームプレートを設置を行ってきました。



城山整備(杉の伐採)

平成21年度の取り組み

平成21年9月27日(日)、総勢30名あまりが参加して城山整備を行いました。遊歩道付近や頂上の見通しを良くするため、木々の伐採を行い、その後にドングリの木(みずなら)を植えたり、伐採した木で登山者が憩えるようにベンチを作りました。



城山山頂からの眺め

今後の取り組み

中部縦貫自動車道からも見える大きな看板を設置して、鹿谷町民はもとより、勝山市を訪れる人々に城山の歴史や自然の素晴らしさを広く周知していきたいと考えています。



伐採木でベンチ

遅羽町住民協議会



かたくりまつり

春のバンビラインは、登山道付近にカタクリの花がひろがり、展望台からは勝山市街や加越国境の山々を眺めることができ、多くの登山者が訪れています。

住民協議会では平成21年4月12日(日)にカタクリまつりを実施し、自然観察をしながら登山し、下山後勝山駅駐車場で参加された皆さんに鍋や地元特産物の即売会を開きました。

ブナの植樹

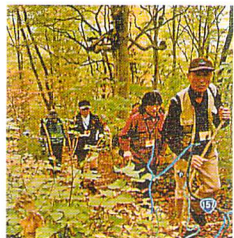
平成21年5月21日、バンビラインの環境保全のため三室小学校の生徒の協力を得て、比島観音付近にブナの木を80本植樹しました。子供たちからは「木が大きくなったら同窓会をしよう」と声が上がっていました。植樹した場所には寄せ書きの看板も設置し植樹した木が分かりやすいようになっています。



谷はやし込み保存会

はやし込み行列

今年のかつやま夏物語の行事のひとつとして、さらに、復活10周年を記念して、8月15日に盛大に《はやし込み行列》が行われました。はやし込みは、北谷町谷地区に、ふるさとを愛し帰って来てくれる人が集まり、谷教会から伊良神社まで、約50名の仮装行列が300mを練り歩き、神社境内で五穀豊穡を願い、謡・三番叟・お神楽（獅子舞）が行われる100年以上の歴史がある伝統行事です。



恐竜の町：谷フットバコース

谷地区では、石畳道（牛首街道）不動滝の横にある不動明王坐像（市指定文化財）において8月11日に火祭りを開催しています。

また、四季を通じて、ブナ林遊歩道、恐竜の道、伊良神社境内のケヤキの群生（谷城跡）、中村の清水（福井のおいしい水認定）などが楽しめます。

空気や水のおいしい谷地区に「ごしゃられい」

谷のお面さん：雪像まつり

今年の「谷のお面さん：雪像まつり」は2月14日（日）に開催しました。村に伝わるお面さん（市指定文化財）が「やさしい顔に見えたらその年は豊作・健康である」と伝えられているまつりです。当日は120体以上の雪像にロウソクを灯し、村中が幻想的な雰囲気になりました。囲炉裏を囲み、保存食である鯖の熟れ鮨しやガヤの実、トチ餅、くるみなどの振る舞われました。



越前禅定道修験者マラソン実行委員会



修験者マラソン2009

8月23日に開催された越前禅定道修験者マラソン2009の参加者67名は、午前7時に勝山城博物館前をスタートしました。

法恩寺山頂を越えて伏拝のゴールまで、男性の一位が1時間14分05秒、女性の一位が1時間33分28秒でした。

今回で6回目になりますが、年々参加者が増えています。遠くは愛知県で、石川県や嶺南からの参加者もいました。

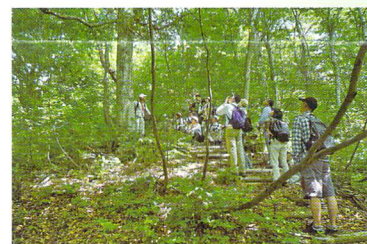
このような山岳コースのレースは県内はもちろん全国的にも少ないので、今後も全国各地からの参加者が増えるのではないのでしょうか。

豊かな自然と歴史ある平泉寺をアピールできる良い機会なので、今後も勝山の代表イベントとして続けていけたら良いです。

わくわく体験学習推進隊

自然観察会

里地里山の持つ自然環境、文化伝承、生物多様性の保全等の機能を学習・理解するために毎月第2日曜日に自然観察会を行いました。自然観察会を通じ、忘れかけていたふるさとの原風景を再確認することができました。



太陽の力を体験しよう！（日食観察、ソーラークッカー工作）

部分日食の観察を通じ、あらゆる自然の源である太陽の偉大さを実感し、身近な自然を感じることができました。また、ソーラークッカー工作により、子どもたちが太陽エネルギーを直接体感することができました。



ワンダーフォーゲルin勝山

勝山市と包括的連携している関西学院大学のWV部と、市内の子ども達との交流会を夏休みに1泊2日で東山いこいの森にて行いました。

魚とりやキャンプファイヤー、餅つき、ドッチビー、取立山登山などを行い大変楽しい時間を過ごすことができました。



小原ECOプロジェクト

古民家の再生

小原集落の民家は山の暮らしを伝える伝統的な白山麓地域共通の建築様式です。小原の木材を使用した建物群は伝統建築技術研究の価値があり、福井工業大学吉田研究室が夏休みを利用した、学生の実地研究として古民家修復にあたり、集落出身者とともに集落景観保全に取り組んでいます。



ミチノクフクジュソウ保全活動

北谷町は県内で唯一のミチノクフクジュソウ生息地です。小原では自生する土手の草刈りを地元の人で行い、その草取りに村岡小学校の子どもたちの協力を得て、ミチノクフクジュソウが自生地が増えていく環境づくりを続けています。



林業体験

第60回全国植樹祭にちなみ、初夏に小原の山で林業体験が催されました。参加者は指導林業士に教わりながら、チェーンソーで実際に間伐体験し、苗木の植林を行いました。

そしてチェーンソーで切り倒した木に直接、熊を彫り上げるダイナミックなショー（＝チェーンソーアート）を堪能しました。



勝山左義長ばやし保存会

後継者育成事業

勝山左義長の次世代への継承に向けて、市民活動センターを会場に7月から10回のお囃子講習会を開催し、大勢の参加者に指導を行いました。



楽器の整備

継承者育成事業に活用するため、練習用、講習会用の楽器の整備を行いました。



県内外PR活動

勝山左義長のPRのため、11月15日石川県志賀町にて「第12回これでもか太鼓」に出演県外でPRを行いました。

この他にも「第60回全国植樹祭（福井市：6/7）」、「ふくい若狭薪能（若狭町：9/21）」など大きなイベントのほか19回の公演を行いました。



ドレミ音楽舎

勝山唄の市2009

「古里勝山」や「愛」をテーマにしたオリジナルの歌詞や曲を募集し、発表をさせていただきました。

また、アマチュアバンドライブでは高校生たちも出場し、力強い演奏を披露させていただきました。



定例音楽ライブ

毎月第3土曜日午後7：00から、「勝山市民活動センター」にて、市民自由参加の定例音楽ライブを開催しています。

青少年に音楽の練習と発表の場を提供し、高校生の参加もあります。



四葉のクローバー会

市長とかたる会

8月4日に市長とかたる会を開催し、転入者の目から見た勝山市の魅力について語り合いました。その前段のたこ焼き作りに市長もチャレンジ!! エプロン姿がお似合いです。たこ焼きを食べつつ、勝山の魅力や市政についてお話。モチモチたこ焼きとワイワイトークで楽しい一時を過ごしました。



勝山魅力発見事業 ～小原～

11月28日に県外から小原地区再生のために移住して来られた会員の案内で、再生民家の探検をしました。修復された昔ながらの民家に皆興奮!! 晩秋の紅葉とともに、失われつつある日本の原風景とそれを守る人たちの努力を感じ、勝山の新たな魅力を発見した有意義な1日となりました。



市民交流 ～鹿谷公民館～

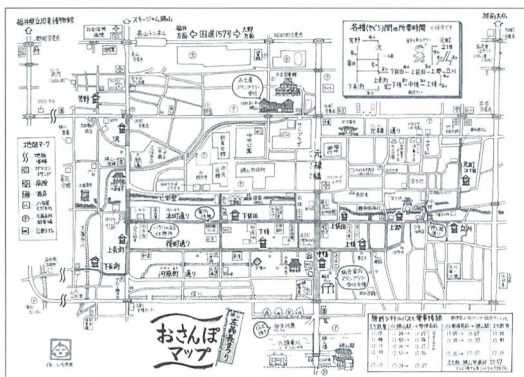
8月1日に鹿谷公民館で料理講習会を開催。大阪出身の会員こだわりのたこ焼きの“技”と“勝山産コシヒカリの米粉”をフュージョン! 地元への愛情をおしゃべりしつつ楽しく料理を作りました。モチモチ感のあるたこ焼きは絶品です。



おさんぽマップ部@らぶ勝

まちなかマップ製作

初めて勝山へ来られた方が、迷わず動くことができるような地図と、いち市民のクチコミ情報を載せたチラシを製作しています。平成21年度は、2回の通常版に加え、左義長まつり特別号も発行しました。



社団法人 勝山青年会議所

第二次エコミュージアムフェスティバル事業「郷・魅・親・心! 勝山魅力体験」

私たち社団法人勝山青年会議所は昨年の7月20日に「わがまちげんき発展事業」の取り組みとして、はたや記念館「ゆめおーれ勝山」のオープニングウィークイベントに合わせて本事業を行いました。

本事業は魅力あふれるわが郷(まち)の宝を参加者の方々に体験しながら楽しんでいただくという想いで企画しました。参加された方々に恐竜時代から近代までの勝山にある歴史のサテライトをチェックポイントとして回って頂き、勝山の過去を知り、連綿と続く現在の勝山に受け継がれてきたものを楽しんでいただきました。この事業をとおして一人でも多くの市民の方々が勝山に愛着と誇りをもていただけたと思います。



(社) 勝山観光協会**うまいもん祭**

春と秋の年2回開催される、勝山うまいもん祭では、市内の「うまいもん」を一堂に集めて提供しています。

あわせて勝山の特産品や勝山観光スポットの紹介・宣伝を行い、観光促進を目指しています。(勝山のうまいもんを探しています。どんどん参加して下さい。)

**ワンコイン元気フェア**

はたや記念館ゆめおーれ勝山オープンを記念して、協会では、勝山の特産品、地元の野菜・物産品などワンコインで提供し、勝山の元気を盛り上げ、明日の勝山の突破口とすることを目的として、「ワンコイン元気フェア」を開催しました。

**旬の市**

旬の市は、11月から3月までの毎月第3土曜日に開催しています。旬の野菜、特産品などを販売しています。採れたて新鮮な冬野菜や暖かい鍋、手打ち蕎麦などが楽しめます。最終日の3月20日(土)には、特製ふるまい鍋が提供されました。

**勝山サンプラザ 青年部****百日草を植えようキャンペーン**

7月3日(金)にサンプラザ花壇(ゆめおーれ勝山側)に「百日草を植えようキャンペーン」を行いました。

ケイター保育園の「らいおん組」「きりん組」の園児と、チラシでイベントを知り、ご好意で参加していただいた市民の方々に250株を植えました。

ゆめおーれ勝山オープン記念イベント

7月18日(土)~20(月・祝)にゆめおーれ勝山オープニングイベントに花を添えるという形で参加しました。飲食物(焼きそば、フランクフルトなど)の販売と、エコ事業として「自転車による発電」を利用した子供向けのゲームや、エコキャップ回収による「ポリオワクチンをアフリカの子供たちへキャンペーン」を行いました。

また、他団体と交流して、県立恐竜博物館、勝山城博物館、おくえつ洋ランセンターの展示ブースを作り、多くの市民の方々に見ていただきました。

**勝山城博物館****勝山城清明茶会**

春爛漫の中、各流派の方々により濃茶席・薄茶席・点心席・野点席を設え大茶会を開催いたしました。お茶席では優雅でしっとり落ち着いた風情をお楽しみいただき、また郷土料理も加えての点心席は好評です。この勝山城清明茶会は毎年4月第3日曜日に開催しますので、どうぞ皆様お誘い合わせしてお気軽にご来館いただきますようお願いいたします。

勝山城博物館特別展

(予定)平成22年7月25日(日)~9月26日(日)

毎年テーマをかえて地域にふさわしいものを展示皆様にご覧いただいています。

昨年は勝山・大野に伝来した江戸から明治初期の古い銃砲や火薬や弾、古文書などを展示いたしました。日本に数挺しか現存しない火打石式ゲベル銃に注目が集まりました。本年は勝山藩と大野藩が全国でも稀有なほど長期にわたり大坂城の警備の幕府勤役を務めたことをテーマに展示したいと考えています。

**第5回 越前勝山城「お城を描こう」絵画作品展**

「子どもの絵から宝物を」をテーマに、勝山市をはじめ県内外の保育園・幼稚園・小、中学校の子ども達を対象に作品を毎年募集し、頑張りが認められた作品に賞状・副賞を、惜しくも選にもれた作品には参加賞を贈呈、入賞作品を城内に展示しました。

